



えとう ちよこ

恵藤千代子

もったいない支所の空きスペース ～利活用を目指す～

質

市の財政状況が厳しいことから、現有財産である支所の空きスペースを有効活用しては、

答 企画部長

本庁部局の一部を支所に移すことは、合併協議の確認に基づき想定していません。

基本的には、まず、市直営施設の機能統合。次に、商工会・JAなどの公共的団体への貸与。最終的には、その他の団体、民間企業などへ貸出しを考えています。

施設や空きスペースの利活用を積極的に進め、経費の節減に努め、地域活性化を図っていきます。



平成9年に建てられた千歳支所

質

「食育」
広げよう
積極的に
取り組む

市の特色を生かし、地域に根ざした安全安心な食育、食文化を育てるための取り組みは、

答 市長

生産・流通並びに消費、健康や教育の分野などと連携をし、本年度に食育推進会議を設置し、平成21年度「食育推進計画」を策定、全市的に取り組みます。

津高栄治



つだか えいじ

メリットに現実性があるか ～豊後牛ブランドの確立を期待～

質

旧大野町から引き継いだ事業ということで、畜産法人の誘致を進めようとしているが、市の畜産振興、農業振興に、どのような波及効果がありますか。

答 産業経済部長



2800頭が飼われている牛舎（久住町）

- ① 市場において、市内産の子牛を多く購入してもらうことにより、買い支えにつながり、価格の安定が期待できる。
- ② 畜産公社へ出荷されれば、市の農業生産額の向上につながる。
- ③ 牛の枝肉データを提供していただければ、改良が早くなる。
- ④ 当面、雇用が7名程度見込める。
- ⑤ 飼料・資材の購入は、極力市内業者を利用することになっている。